

新たな北海道総合開発計画の検討の進捗状況について

国土交通省北海道局

令和5年3月9日

新たな北海道総合開発計画の検討の進捗状況

令和2年度

第8期北海道総合開発計画中間点検(令和3年2月)

令和3年度

(10月14日) 第25回 北海道開発分科会

- ・新型コロナウイルス感染症の更なる拡大、2050年カーボンニュートラルに向けた国の施策の展開など、北海道開発を取り巻く状況に急速かつ大きな変化
- ・臨機応変に、かつ時期を逸することなく対応するため、2050年の長期を見据えた新たな計画の策定に向けた検討に着手

(3月28日) 第1回計画部会

- 新たな北海道総合開発計画の策定に向けた調査審議を開始
 - ・我が国を取り巻く状況、北海道の資源・特性、北海道が果たすべき役割

(5~11月) 第2回~第6回計画部会

- ・将来像
- ・進むべき方向性
- ・新たな計画の目標
- ・計画の進め方
- ・個別分野の施策 等について調査審議

(1月30日) 第7回計画部会

- 中間整理(案)を調査審議

(3月9日) 第26回 北海道開発分科会

- 計画部会からの報告

第8回~第9回計画部会

- 新たな北海道総合開発計画に関する計画部会報告(案)について調査審議

第27回 北海道開発分科会

- 新たな北海道総合開発計画に関する計画部会報告

パブリックコメントを実施

第28回 北海道開発分科会

- 北海道総合開発計画(案)について調査審議

閣議決定

(令和5年度内を目途に閣議決定予定)

令和4年度

令和5年度

北海道における議論

第25回 北海道開発分科会

●令和3年11月～12月

- 新たな北海道総合開発計画の策定に向けて、地方公共団体、経済団体等からの意見聴取
《地方公共団体173市町村、経済団体71団体》

●令和3年12月～令和4年1月

- 地域で活躍する多様な方々と2050年の長期を見据えた将来展望等について意見交換
《北海道内10地域、総人数59名》



第1回計画部会

第2回計画部会以降

●令和4年6月

- 北海道開発局と連携協定を締結している企業との「2050年の北海道の姿を考える懇談会」を実施
《参加企業：8企業》



第7回計画部会

●令和5年1月～2月

- 中間整理（案）について、地方公共団体、経済団体等からの意見聴取
《地方公共団体178市町村、経済団体78団体》

●令和5年2月

- 地域で活躍する多様な方々と意見交換
《北海道内10地域、総人数58名》



第26回 北海道開発分科会

計画部会における調査・審議

北海道総合開発計画の意義

北海道開発の基本的意義は、北海道の資源・特性を活かして、その時々々の国の課題解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図ることにある。

我が国を取り巻く状況

- ・感染症の拡大
- ・2050年カーボンニュートラル
- ・ウクライナ情勢 等

北海道の資源・特性（ポテンシャル）

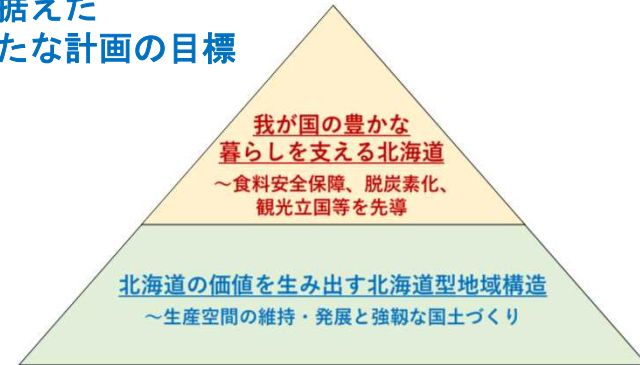
- ・食料供給力
- ・エネルギー・資源
- ・自然環境 等

北海道が果たすべき役割

- ・食料安全保障を支える
- ・脱炭素化を先導
- ・自然環境文化を受け継ぐ 等

将来像（2050年の将来像）、進むべき方向性

将来像を見据えた新たな計画の目標



計画の進め方

1. 「リアル」と「デジタル」のハイブリッドによる北海道型地域構造の保持・形成
2. 計画の実効性を高めるための方策
 - ・官民の垣根を越えた「共創」
 - ・フロンティア精神の再発揮
 - ・社会変革の鍵となるDX・GXの推進
 - ・戦略的な社会資本整備
3. 計画のマネジメント